

THEO グロース・ファンド (世界の株式中心)

運用報告書 (全体版)

第3期 (決算日 2020年1月31日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、「THEO グロース・ファンド (世界の株式中心)」は、2020年1月31日に第3期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。(設定日：2017年3月1日)	
運用方針	「THEO グロース・ファンド (世界の株式中心)」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心)」の運用方針です。 ①主として世界の投資信託証券 (ETF) に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円でのが替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) 受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券 (ETF) を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①投資信託証券 (ETF) への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年1月31日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

(受付時間：委託会社の営業日の9:30～17:00)

ホームページ：<https://www.money-design.com/>

 お金のデザイン

東京都港区赤坂1丁目9番13号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		投資信託 組入比率	純資産額
		税金 分	配 分		
(設定日)	円	円	%	%	百万円
2017年3月1日	10,000	—	—	—	1
1期(2018年1月31日)	11,336	0	13.4	99.9	65
2期(2019年1月31日)	10,318	0	△ 9.0	105.4	168
3期(2020年1月31日)	11,731	0	13.7	93.9	367

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		投資信託 組入比率
		騰落	率	
(期首) 2019年1月31日	円 10,318		% —	% 105.4
2月末	10,804		4.7	96.6
3月末	10,895		5.6	84.6
4月末	11,271		9.2	90.4
5月末	10,567		2.4	100.9
6月末	10,801		4.7	101.3
7月末	10,868		5.3	100.9
8月末	10,272		△ 0.4	94.3
9月末	10,822		4.9	100.0
10月末	11,287		9.4	99.9
11月末	11,606		12.5	92.5
12月末	11,867		15.0	89.8
(期末) 2020年1月31日	円 11,731		13.7	93.9

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2019年2月1日～2020年1月31日)

期中の基準価額等の推移



期 首：10,318円

期 末：11,731円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 13.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2019年1月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、13.7%上昇しました。

当ファンドは、「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当期においては、景気後退への懸念から各国の中央銀行が緩和的金融政策を打ち、世界的に前期より低金利環境となりました。これに加えて、底堅い消費および堅調な労働市場にも後押しされ、株式市場は2013年以來最高の結果を残しました。当ファンドは、為替ヘッジを行っていないため為替相場の変動が基準価額に反映されます。今期為替相場は円高米ドル安となったため、当ファンドの基準価額に若干マイナスをもたらしました。

投資環境

世界の株式市場の指数であるMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は16.7%の上昇となりました。一方、米ドル円レートは0.5%の円高となりました。

世界の株式市場は各国政府が景気後退に向けて予防的な緩和的金融政策を打ち出したことを市場が好感し、一年を通して株高が続きました。その上、2018年に始まった米中間の貿易摩擦問題が2019年末にかけ、度重なる協議を経て解決へ向かい始めたことを受け、市場内での世界経済成長に対する先行き不透明性が解消されたことも好材料となりました。

欧州においては、上述の低金利環境に加えて、英国下院総選挙において、保守党が過半数を獲得し、今後の英国のEU離脱へ向けての方向性が定かになり、欧州株式も好調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の株式へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の企業の成長性を享受し、投資信託財産を成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第3期
	2019年2月1日～ 2020年1月31日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,731

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券への投資を通じ、低リスク・バリュー・モメンタムといったスマートベータの概念に基づくアルゴリズムを用いて主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の企業の成長を享受することを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年2月1日～2020年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	48 (39) (6) (3)	0.440 (0.358) (0.055) (0.027)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	16 (16)	0.144 (0.144)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	1 (1)	0.006 (0.006)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	14 (7) (8)	0.127 (0.061) (0.066)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	79	0.717	
期中の平均基準価額は、10,948円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

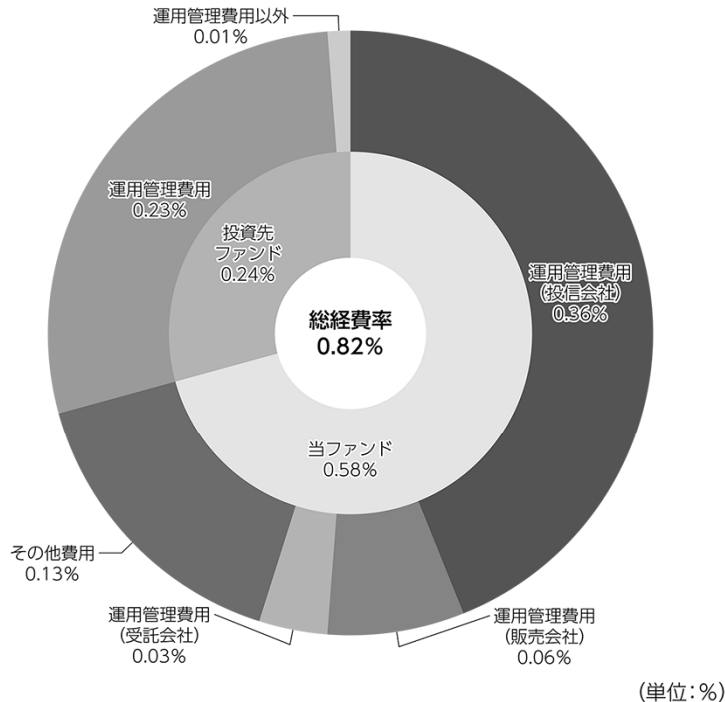
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.82%です。



総経費率 (①+②+③)	0.82
①当ファンドの費用の比率	0.58
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年2月1日～2020年1月31日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）		156,965	174,704	9,461	10,612

○利害関係人との取引状況等

(2019年2月1日～2020年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年2月1日～2020年1月31日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年2月1日～2020年1月31日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年1月31日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）	161,168	308,672	367,783

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）	367,783	99.5
コール・ローン等、その他	1,732	0.5
投資信託財産総額	369,515	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）において、当期末における外貨建純資産（1,186,518千円）の投資信託財産総額（1,440,453千円）に対する比率は82.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.06円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	369,515,528
コール・ローン等	1,731,842
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）（評価額）	367,783,686
(B) 負債	1,731,842
未払解約金	882,740
未払信託報酬	679,316
その他未払費用	169,786
(C) 純資産総額（A－B）	367,783,686
元本	313,511,765
次期繰越損益金	54,271,921
(D) 受益権総口数	313,511,765口
1万口当たり基準価額（C／D）	11,731円

(注) 当ファンドの期首元本額は162,847,872円、期中追加設定元本額は161,954,260円、期中一部解約元本額は11,290,367円です。

(注) 1口当たり純資産額は1,1731円です。

○損益の状況（2019年2月1日～2020年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	35,001,859
売買益	35,859,687
売買損	△ 857,828
(B) 信託報酬等	△ 1,429,596
(C) 当期損益金（A＋B）	33,572,263
(D) 前期繰越損益金	△ 5,756,078
(E) 追加信託差損益金	26,455,736
(配当等相当額)	(24,344,989)
(売買損益相当額)	(2,110,747)
(F) 計（C＋D＋E）	54,271,921
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金（F＋G）	54,271,921
追加信託差損益金	26,455,736
(配当等相当額)	(24,717,779)
(売買損益相当額)	(1,737,957)
分配準備積立金	27,816,185

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（6,417,528円）、費用控除後の有価証券等損益額（15,607,094円）、信託約款に規定する収益調整金（26,455,736円）および分配準備積立金（5,791,563円）より分配対象収益は54,271,921円（1万口当たり1,731円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO グロース・マザーファンド （世界の株式中心）

運用報告書

第3期（決算日 2020年1月31日）
（2019年2月1日～2020年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	組 入 比 率
		騰 落 率	中 率		
(設定日)	円		%		%
2017年3月1日	10,000	—	—	—	—
1期(2018年1月31日)	11,390	13.9	99.9	65	
2期(2019年1月31日)	10,424	△ 8.5	105.4	707	
3期(2020年1月31日)	11,915	14.3	93.9	1,263	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	組 入 比 率
		騰 落 率	率		
(期 首)	円		%		%
2019年1月31日	10,424	—	—	105.4	
2月末	10,920	4.8	96.5		
3月末	11,017	5.7	84.5		
4月末	11,401	9.4	90.3		
5月末	10,696	2.6	100.8		
6月末	10,936	4.9	101.1		
7月末	11,010	5.6	100.9		
8月末	10,410	△ 0.1	94.2		
9月末	10,973	5.3	99.9		
10月末	11,449	9.8	99.8		
11月末	11,777	13.0	92.4		
12月末	12,047	15.6	89.6		
(期 末)					
2020年1月31日	11,915	14.3	93.9		

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2019年2月1日～2020年1月31日)

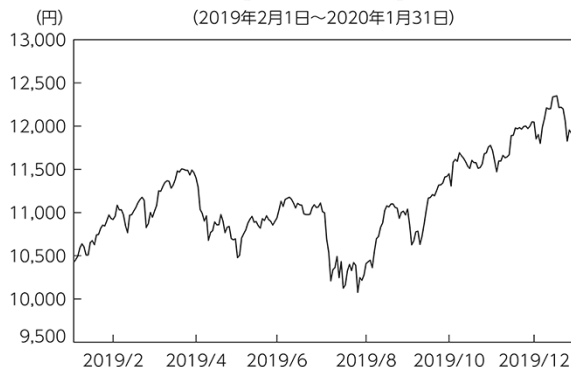
期中の基準価額等の推移

○基準価額の変動要因

当ファンドの基準価額は、14.3%上昇しました。

当期においては、景気後退への懸念から各国の中央銀行が緩和的金融政策を打ち、世界的に前期より低金利環境となりました。これに加えて、底堅い消費および堅調な労働市場にも後押しされ、株式市場は2013年以来最高の結果を残しました。当ファンドは、為替ヘッジを行っていないため為替相場の変動が基準価額に反映されます。今期為替相場は円高米ドル安となったため、当ファンドの基準価額に若干マイナスをもたらしました。

【基準価額の推移】



投資環境

世界の株式市場の指数であるMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は16.7%の上昇となりました。一方、米ドル円レートは0.5%の円高となりました。

世界の株式市場は各国政府が景気後退に向けて予防的な緩和的金融政策を打ち出したことを市場が好感し、一年を通して株高が続きました。その上、2018年に始まった米中間の貿易摩擦問題が2019年末にかけ、度重なる協議を経て解決へ向かい始めたことを受け、市場内での世界経済成長に対する先行き不透明性が解消されたことも好材料となりました。

欧州においては、上述の低金利環境に加えて、英国下院総選挙において、保守党が過半数を獲得し、今後の英国のEU離脱へ向けての方向性が定かになり、欧州株式も好調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の株式へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の企業の成長性を享受し、投資信託財産を成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定していません。

○今後の運用方針

引き続き、低リスク・バリュー・モメンタムといったスマートベータの概念に基づくアルゴリズムを用いて主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の企業の成長を享受することを目指します。定期的な評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2019年2月1日～2020年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 16 (16)	% 0.146 (0.146)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	1 (1)	0.006 (0.006)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (そ の 他)	2 (2)	0.014 (0.014)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	19	0.166	
期中の平均基準価額は、11,088円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年2月1日～2020年1月31日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ		千米ドル		千米ドル
	ISHARES MSCI BRAZIL ETF	—	—	345	15
	ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	45,701	2,091	41,075	1,881
	ISHARES MSCI SOUTH KOREA ETF	5,206	312	3,882	230
	ISHARES MSCI GERMANY ETF	9,950	274	9,590	263
	ISHARES MSCI MEXICO ETF	45,527	1,995	45,545	2,012
	ISHARES CHINA LARGE-CAP ETF	5,122	216	4,616	196
	ISHARES MSCI TAIWAN ETF	5,486	187	5,724	201
	ISHARES MSCI JAPAN ETF	88,520	4,904	81,748	4,556
	VANGUARD FTSE EMERGING MARKE	5,656	237	4,212	177
	VANGUARD FTSE PACIFIC ETF	34,341	2,307	37,391	2,470
	VANGUARD FTSE EUROPE ETF	103,500	5,650	91,810	4,998
	VANGUARD MID-CAP VALUE ETF	51,126	5,666	44,013	4,877
	VANGUARD MID-CAP GROWTH ETF	1,659	233	4,968	690
	VANGUARD SMALL-CAP GRWTH ETF	1,404	246	1,385	252
	VANGUARD SMALL-CAP VALUE ETF	8,663	1,145	4,192	556
	VANGUARD VALUE ETF	47,724	5,308	39,211	4,349
WISDOMTREE INDIA EARNINGS	89,268	2,235	82,330	2,061	
小	計	548,853	33,013	502,037	29,793

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2019年2月1日～2020年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年2月1日～2020年1月31日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年1月31日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
ISHARES MSCI BRAZIL ETF	345	—	—	—	—	
ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	11,155	15,781	724	79,031	6.3	
ISHARES MSCI SOUTH KOREA ETF	372	1,696	100	10,977	0.9	
ISHARES MSCI GERMANY ETF	1,114	1,474	42	4,665	0.4	
ISHARES MSCI MEXICO ETF	3,933	3,915	183	19,969	1.6	
ISHARES CHINA LARGE-CAP ETF	383	889	36	3,945	0.3	
ISHARES MSCI TAIWAN ETF	491	253	9	1,067	0.1	
ISHARES MSCI JAPAN ETF	15,606	22,378	1,313	143,284	11.3	
VANGUARD FTSE EMERGING MARKE	—	1,444	61	6,735	0.5	
VANGUARD FTSE PACIFIC ETF	13,545	10,495	717	78,278	6.2	
VANGUARD FTSE EUROPE ETF	25,271	36,961	2,131	232,506	18.4	
VANGUARD MID-CAP VALUE ETF	10,572	17,685	2,106	229,788	18.2	
VANGUARD MID-CAP GROWTH ETF	3,309	—	—	—	—	
VANGUARD SMALL-CAP GRWTH ETF	—	19	3	418	0.0	
VANGUARD SMALL-CAP VALUE ETF	—	4,471	603	65,826	5.2	
VANGUARD VALUE ETF	9,239	17,752	2,111	230,329	18.2	
WISDOMTREE INDIA EARNINGS	22,706	29,644	730	79,692	6.3	
合 計	口 数 ・ 金 額	118,041	164,857	10,879	1,186,517	
	銘 柄 数 < 比 率 >	14	15	—	< 93.9% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2020年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,186,517	82.4
コール・ローン等、その他	253,936	17.6
投資信託財産総額	1,440,453	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（1,186,518千円）の投資信託財産総額（1,440,453千円）に対する比率は82.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.06円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年1月31日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	1,440,453,500	
コール・ローン等	253,936,279	
投資信託受益証券(評価額)	1,186,517,221	
(B) 負債	177,424,738	
未払金	130,280,647	
未払解約金	47,144,091	
(C) 純資産総額(A-B)	1,263,028,762	
元本	1,060,074,376	
次期繰越損益金	202,954,386	
(D) 受益権総口数	1,060,074,376口	
1万口当たり基準価額(C/D)	11,915円	

(注) 当ファンドの期首元本額は678,805,888円、期中追加設定元本額は8,521,609,293円、期中一部解約元本額は8,140,340,805円です。

(注) 2020年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・THEO グロース・A I ファンド（世界の株式中心） 751,401,538円

・THEO グロース・ファンド（世界の株式中心） 308,672,838円

(注) 1口当たり純資産額は1.1915円です。

○損益の状況（2019年2月1日～2020年1月31日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	22,623,922	
受取配当金	22,609,478	
受取利息	14,444	
(B) 有価証券売買損益	86,802,045	
売買益	114,550,473	
売買損	△ 27,748,428	
(C) 保管費用等	△ 127,992	
(D) 当期損益金(A+B+C)	109,297,975	
(E) 前期繰越損益金	28,809,013	
(F) 追加信託差損益金	959,863,633	
(G) 解約差損益金	△895,016,235	
(H) 計(D+E+F+G)	202,954,386	
次期繰越損益金(H)	202,954,386	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。